

科目名	地誌学Ⅰ		担当教員	柏木 良明	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1SGG105
期待される学修成果	教科教育 学校と社会				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	指導要領の「地理的分野」に関わる、世界の様々な地域や日本の様々な地域の地域構成、環境、産業等をテーマとする。その際、地誌を単に暗記するだけでなく、自然環境と人間活動との関係から自ら興味をもって学び理解することを到達目標とする。				
授業の概要	世界各地の地誌について、気候・地形・植生などの自然条件と農業・工業などの人間活動との関わりについて調べる。講義に加えて、各国の地誌についてディスカッションや、地図作成などの作業を行う。				

授業計画	
第1回	地誌学とはどのような学問分野であるかを解説する。地形と気候との関係を例に、大スケールの地理について考察を進める。
第2回	地理学の発展について、古代から大航海時代まで、地図を参照しながら考察する。
第3回	メンタルマップ、旧国名等の、地図の作業を行う。
第4回	近代の地理学の発展について解説する。
第5回	日本地誌（自然環境） 地形区分と日本の気候について学習する。
第6回	日本地誌 過去の気候と植生分布について解説する。
第7回	東南アジア地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第8回	南アジア地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第9回	東南アジア、南アジアにて、ビジネスを展開する方（美川（池宮）聖実氏）を、ゲストスピーカーとして招聘し、今の各地の地誌学的様子、産業、ビジネス等について学習を進める。
第10回	ラテンアメリカ地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第11回	アマゾン川流域の地誌について、地形、気候、植生、産業、人々の暮らしについて解説する。
第12回	オセアニア地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第13回	ヨーロッパ地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第14回	アフリカ地誌、最新の地誌研究について、解説する。
第15回	まとめと確認試験

事前学修	2時間	毎回、授業時に示す国々を地図帳で確認しておくこと。
事後学修	2時間	専門書と地図帳等で、その地域の地誌について復習すること。
フィードバックの方法	レポート課題については、次の授業時に解説を行う。確認試験については、試験後に個別に解説を行う。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	20%	地図作成他
上記以外の試験・平常点評価	80%	授業内容の理解到達度確認
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
基本地図帳改訂版2025-2026	二宮書店編集部	二宮書店	978-4-8176-0511-5	ISBNは、新版で変更の可能性あり
参考資料				

科目名	地誌学Ⅱ		担当教員	河村 光	
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED1SGG406
期待される学修成果	教科教育 学校と社会				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	地誌学の基本的な考え方を学び、日本のさまざまな地域について地誌学の立場から理解を深める。そして、身近な地域の地誌行列の作成を通じて、さまざまな資料を用いて地域の特性をとらえ、地域の特性がいかに形成されてきたのかを説明できるようになる。				
授業の概要	地域を構成するさまざま要素を総合的に理解するという地誌学の基本的な考えをもとに、日本の多様な地域の成り立ちやその特性について講義する。				

授業計画	
第1回	イントロダクション
第2回	地理学における地誌学の位置づけ
第3回	地誌学の調査法
第4回	日本における環境と生活の多様性
第5回	農村における生業と生活1（村落構造と地域社会）
第6回	農村における生業と生活2（生業と資源利用）
第7回	農村における生業と生活3（現代農村の課題）
第8回	大都市圏の形成と地域構造
第9回	都市郊外の変化と現在
第10回	地方都市の発展と衰退
第11回	鉱工業地域の比較地誌（鉱業地域）
第12回	鉱工業地域の比較地誌（工業地域）
第13回	地誌行列の作成
第14回	これらかの地誌学にむけて
第15回	学修到達度の確認試験と解説および授業の総括

事前学修	2時間	配布する授業資料および参考資料などに目を通し、分からないことがあれば調べること。
事後学修	2時間	提示された課題に取り組むこと。分からなかった点について復習すること。課題の総まとめとして行う身近な地域の地誌行列の作成に向けて情報収集に取り組むこと。
フィードバックの方法	提出された課題への回答は授業の中で行う。質問には随時回答する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	30%	各回の内容理解度に応じて評価する。
レポート	20%	各課題の総まとめとして作成する身近な地域の地誌行列について評価する。
上記以外の試験・平常点評価	50%	講義全体を通じての理解度に応じて評価する。
定期試験	0%	
補足事項	身近な地域の地誌行列の未提出者はその他の成績に関わらず失格とする。	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
参考資料	適宜紹介する。			